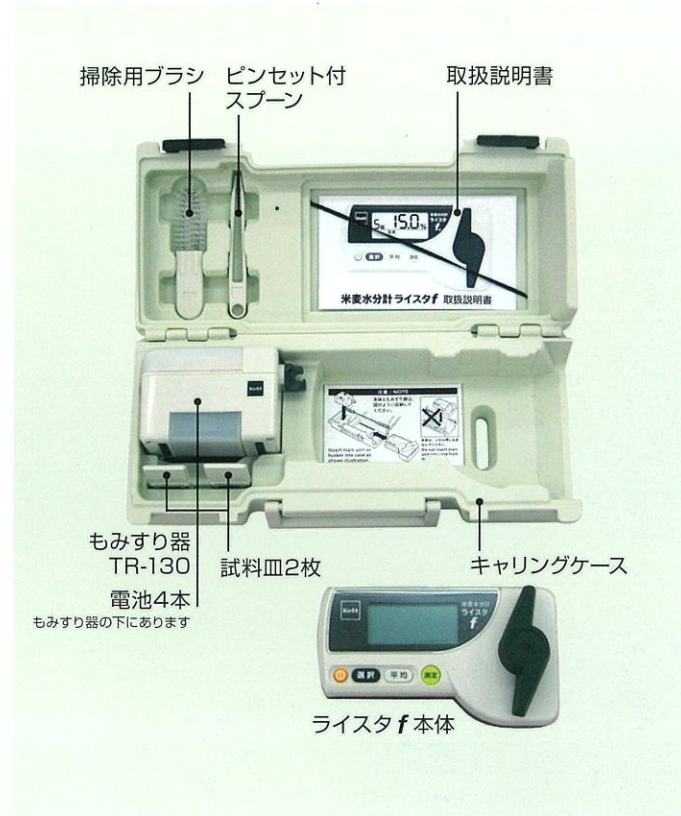


■ 仕様

測定対象	玄米、精米、もみ、乾燥中もみ、大麦、小麦、はだか麦
測定方式	電気抵抗式
測定範囲	玄米:11~20%、精米:11~20%、 もみ:11~30%、乾燥中もみ:11~20%、 大麦:10~30%、小麦:10~30%、 はだか麦:10~20%
測定精度	製作:±0.1% (20%以下)、 105℃法:±0.5% (乾燥中もみを除く)
表示方式	デジタル(LCD、最小表示桁0.1%、バックライト付)
使用温度範囲	0~40℃
温度補正	サーミスタによる自動温度補正
穀温補正	マイコンによる自動穀温補正 (穀温補正の適用は水分20%以下)
電源	1.5V(単3電池)×4、オートパワーオフ機能付
寸法・質量	164(W)×94(D)×64.5(H)mm、0.44Kg
付属品	試料皿×2、掃除用ブラシ、ピンセット付スプーン、 もみすり器「TR-130」、電池(単3)×4、 キャリングケース、取扱説明書

■ 本体と付属品



# 米麦水分計 ライススタf

Kett

SCIENCE OF SENSING  
測定器のケットです。

■ 関連製品

□ もみすり器 TR-130



- もみがらと、玄米を分離して排出。
- もみすり効率の良いスパイラルロールを採用。
- 消耗したロールの交換が簡単。
- 米麦水分計ライススタfの付属品を商品化。  
(平成23年モデルから)

□ 電動もみすり器 TR-250



- もみを約60秒で20gの玄米試料に。
- もみと玄米は分離し別々のケースへ収納。
- 試料投入口カバーで試料の飛び出しを防止。
- 消耗したロールの交換が簡単。

□ 小型精米器パーレスト



- 玄米を約30秒でとう精。大麦や酒米にも。
- 試料飛散やモーター過負荷の防止機能搭載。
- 水分測定用だけでなく、虫・熱・カビ・細菌等による着色粒検査でも活躍。
- オプションのタイマーで待ち時間なし。



**Kett 株式会社ケット科学研究所**

東京本社	東京都大田区南馬込 1-8-1 〒143-8507 TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001
大阪支店	大阪市東淀川区東中島 4-4-10 〒533-0033 TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585
札幌営業所	札幌市西区八軒一条西 3-1-1 〒063-0841 TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866
仙台営業所	仙台市青葉区二日町 2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802 TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809
名古屋営業所	名古屋市中村区名駅 5-6-18 伊原ビル 〒450-0002 TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677
九州営業所	佐賀県鳥栖市布津原町 14-1 布津原ビル 〒841-0053 TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012

ご用命は

この印刷物は環境への配慮から「植物油インキ」と「再生紙」を使用しています。

●この商品へのお問い合わせは上記、またはインターネットのメールボックスへお願いいたします。 URL <http://www.kett.co.jp/> E-mail [sales@kett.co.jp](mailto:sales@kett.co.jp)  
●製品改良のため、仕様や外観の一部を予告なく変更することがあります。また、製品の色調は印刷のため実物とは異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。 1706・KA・0102・005K



# 米麦水分計 ライスタf

ケットのライスタがリニューアル。画面は見やすく、操作はわかりやすく。

現在ご好評いただいている米麦水分計ライスタfが、このたびリニューアルいたしました。

弊社ケット科学研究所は、わが国で初めて米麦水分計を実用化し、普及に努めてまいりました。ライスタシリーズは、1961(昭和36)年の初代ライスタから数多くのモデルを経てライスタfに至り、その系譜は日本の小型米麦水分計の歴史と言っても過言ではありません。おかげさまで今日では「ケット」と言えば米麦水分計そのものを示す代名詞となりました。

今回のリニューアルでは、従来の白いライスタfをあらゆる角度から再検討しています。改良すべき点は改良し、継承すべき点は継承し、測定器としての信頼性と使い勝手の向上を図ることで、新たな若草色のライスタfとして生まれ変わりました。

信頼性はそのままに、常に進化を目指す。

それがケットのライスタfです。

## ● ユニバーサルデザイン

従来の白いライスタfに比べ、表示部と押しボタンが見やすくなりました。ボタンは、電源・選択・平均・測定に分かれた機能別になっており、操作が分かりやすく誰にでも使いやすいユニバーサルデザインになりました。

## ● 保持しやすく、使いやすい本体と粉碎ハンドル

本体を保持する位置に滑り止めグリップを、また粉碎ハンドルもラバーコーティングされ使いやすくなっています。

## ● 平均水分表示

測定後、平均ボタンを押せば測定回数と平均水分を表示します。数回の測定で、より正確な水分が把握できます。

## ● 7種の測定対象

米だけでなく、もみや麦類も正確に水分測定できます。選択ボタン一つで切り替えられます。



ライスタ史上最高の使いやすさ。  
新しくなった若草色のライスタf

## ■ ライスタfの操作はとても簡単です。



電源を入れると全表示の後、器械温度が表示され、その後測定待ちの状態になります。

選択ボタンを押し、測定したい試料を選びます。

測定部に試料を入れ、一気に粉碎します。

測定ボタンを押すと、水分値が表示されます。

平均ボタンで測定回数と平均値が表示されます。

## ● 自動温度補正、自動穀温補正機能

水分計と環境、または試料との温度差は、測定誤差の要因になります。二重の温度補正機能が自動的にはたらきます。

## ● すぐに使えるオールインワン・セット

水分測定に必要なすべてが、丈夫なキャリングケースに納められています。サッと用意し、すぐに使うことができます。



キャリングケースもリニューアル。ブラシ・ピンセットの出し入れが簡単になりました。

## ● 万全のアフターサービス体制

ケットのライスタは、アフターサービス体制が確立しています。機械や水分計は使用前の点検と調整が必要です。特に水分計は見た目だけでは、正しい水分が測定できるかどうか分かりません。このためケットは毎年、全国規模でアフターサービスの点検調整を行い、点検済みのライスタには下のような検定証を貼っています。詳細はお近くのJAなどにお尋ねください。



## ■ ライスタを使えば安心です。

乾燥の最終確認は、ライスタによる水分測定が必要です。乾燥機の自動停止装置が、もみの水分状態で制御されている場合、もみと実際の玄米水分とが異なり、過乾燥や未乾燥になることが広く知られています。水分の最終確認はライスタで測定することをおすすめします。